災害と物価高から市民守る日本共産党

松戸市議会議員

ミールかずえ



プロフィール

1969年東京生まれ、都立大学法学部卒。「法テラス」神奈川で総務課長等を歴任し24年間で2万件の相談を解決につなぐ。松戸市議2期、建設経済常任委員会、松戸市都市計画審議会。松戸新田（フィオリの丘）在住、趣味テニス・ピアノ、家族は国際結婚の夫と二人の息子。

■主な活動地域

矢切、二十世紀が丘、松戸、古ケ崎、栄町、馬橋西、新松戸など。

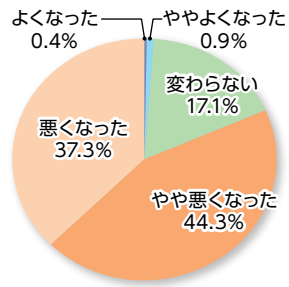
２期８年、市民の皆さんと「市役所建て替え」、「市道の速度規制」など様々な課題に取り組み改善させてきました。また日々多くの生活相談を受け、生活支援や法的解決につないできました。

命と暮らしを守る市政を実現するために、引き続き働かせてください。

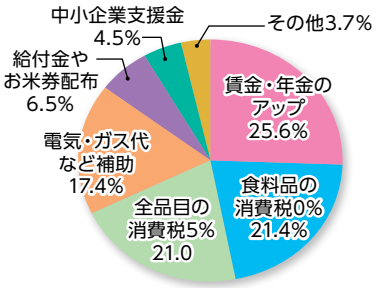
アンケートに寄せられたみなさんの声に応え、全力で頑張ります。

日本共産党のアンケートに寄せられた市民の「暮らしが苦しくなった」の声

あなたの暮らしは物価高騰前後でどう変わりましたか。



あなたが最も望む（有効と考える）物価高騰対策は？



2期8年で実現しました!!

- 住民のみなさんとともに、栄町のデコボコ道路1.5㎞を安全できれいな道路にすることができました。
- 住民運動と連携し、市役所建て替えを『移転』から『現地』へ180度転換させました。
- 生活保護のしおりに「国民の権利」を明記
- 日々の生活相談を解決
- 道路などの補修相談も早急に解決



凸凹道路改修完了！



便利な市役所を!

ミールかずえの足取り

1969年東京でサラリーマンの家庭に生まれ、大学卒業後、流通業に就職。その後転職し（財）法律扶助協会、法テラスを経て、「市民と野党の共闘」に要請されて2018年6月、急きょ市長選に出馬。同年11月市議選で初当選しました。

子どものころ読んだ小説や、見た映画で共産党が戦争に命がけで反対しているのを知り、共産党すごいと感動。成人してからも一貫して共産党を支持。結婚当初住んでいた荒川区町屋の区議に勧められ1999年に日本共産党に入党しました。

めざしているのは

- 憲法を軸に平和で公正な社会の実現
- 開発より自然を守る
- 車から歩行者優先の社会へ

みなさんと力合わせて実現めざします

◆どの子ものびのび

- 中学校給食の無償化
- 教員不足解消

◆安全な街づくり

- 水害対策の強化
- 国道464号の歩道の整備

◆働く人を応援

- 介護、保育労働者の賃金アップ
- 公契約条例で公共事業労働者の賃金アップ

◆住まいと地域の願い

- 市営住宅の増設
- 公共交通の充実
- 矢切の耕地の保全
- 公園新設と施設整備

水害から市民を守る

日本共産党のみわ由美県議と松戸市議団は8月13日の豪雨被災直後から被災住民のもとに駆けつけ、災害対策本部を立ち上げ、被災者の声を直ちに松戸市に届け、ワンストップコールセンターを開設させました。17日は被災者の声を18項目にまとめた要望書を市に提出しました。



被災地を巡るミール市議とみわ県議

災害対策を抜本的に強め、中学校給食無償化、教員不足解消を!

まつど民報　2026年10・11月号外　日本共産党の活動と見解を紹介します。

日本共産党松戸・鎌ケ谷地区委員会　〒270-2252　松戸市千駄堀1810-2　☎047-349-1544

党地区委員会ホームページ

市民の命と暮らし最優先の松戸市へ
ブレずにがんばる日本共産党の4議席

自治体のお仕事は?

「住民の健康と福祉の増進」(地方自治法第2条)が本業のはずです。松戸市はどうでしょうか?

松戸市では

2026年度の予算では国民健康保険料など約41億円の市民負担を増やす一方で、新松戸東側区画整理の赤字の穴埋めに30億円の税金をつぎ込もうとしています。他にも無謀な開発がめじろ押しです。

中学校給食無償化は5.4億円〔一般会計予算の0.3%弱〕でできます!

こんな市の仕事ぶりをチェックするのが市議会の役目ですが、市民負担増も無謀な開発もフリーパス。(右の表を見てください)

すべての議案をチェックするためには4つの常任委員会すべてに委員を出せる日本共産党の4議席が欠かせません。



2026年3月議会

議案	日本共産党	政策実現フォーラム・社民	公明党	清風まつど	松戸志政会	無所属
2026年度予算	×	○	○	○	○	△
市営水道料金値上げ	×	○	○	○	○	○
新松戸東側・松戸駅東側開発予算	×	×	○	○	○	△
国保・後期高齢者医療保険料値上げ	×	△	○	○	○	○
イラン攻撃の即時停止を求める意見書	○	○	×	×	×	△

○賛成　× 反対　△賛否分かれる

災害対策、くらし・営業、医療・福祉、公共交通…
力合わせ市民のために働く市政を取り戻そう

世界でも日本でも、松戸でも市民の力で

ニューヨークでは昨年11月、民主的社会主義者(DSA)のゾーラン・マムダニさんが、公共取り戻そうと、家賃の凍結などを掲げて市長に。

日本でも、今年3月の清瀬市で地域図書館の再生を公約に掲げた共産党市議団長の原田ひろみさんが市長に当選。

松戸でも市民の声で、市役所の移転建て替えが現地建て替えに転換。小学校給食の無償化にも市民の声が生かされました。

実現します! 市民アンケートのトップ5

1. 教職員不足の解消を　41.6%
2. 国民健康保険料の引き下げを　35.5%
3. 小中学校給食の無償化を　34.1%
4. 年金で入れる特養ホームを　34.0%
5. コミュニティバス・タクシー代補助を　30.0%

憲法を守り、国民が主人公をつらぬく日本共産党です

憲法と国連憲章が行動基準です

日本共産党の行動基準は、国内では日本国憲法です。憲法の全条項を守り、国民の命と暮らし、人権と民主主義に生かします。

国際的には国連憲章が行動基準です。戦争や紛争は国連憲章にもとづいて解決すべきであり、アメリカやロシア、イスラエルの横暴は許されません。

日本共産党リットリンク

皇室典範での共産党の主張にビックリ!

総選挙後の国会では、高市政権の数を頼んだ暴走に、自民党内からも批判の声が上がりました。

そのなかで、「女性天皇への道を閉ざす皇室典範改定案には反対」という日本共産党の主張が注目を浴びました。日本共産党は天皇の制度でも「その地位は国民の総意による」という憲法をそのまま生かします。

憲法9条は変えない 戦争準備の大軍拡やめる 税金は暮らしに回す!